

スマイル学習（反転授業）について（佐賀県武雄市） 27.11.13

武雄市のスマイル学習（反転授業）について視察した。

武雄市では、中学校全校生徒にタブレット端末を渡している。このことにより、生徒は先生が作った予習動画を見て、前日から予習しておく。例えば、理科の実験などでは通常ならば、先生が模範実験をして、その後生徒が個々に実験するのであるが、武雄市の場合は前日に動画をみて予習しているので、すぐに生徒が実験にとりかかることができる。

しかし、これをタブレット動画でないと教科書を開いて、読んで、学習することになり、かなり難しくなる。また、ビデオで一プでするとすれば、ダビングが大作業となる。動画であれば食事しながらでも見ることができ、現実在即している。先生は収録で大変であるが、授業は格段にスムーズになる。

タブレットのもう一つの利点は、授業最後に理解度をチェックできることだ。今日の授業のまとめが表示され、理解したものはタッチしていく。瞬時に全員の理解度が表示される。わからない人には、すぐに先生とサポートの先生が行って直接教える。

もし、これをタブレットなしですれば、プリントを配り、それをすぐに回収して、採点して指導する。このことを瞬時にするのは無理なので、後日ということになるが、それでは忘れてしまってから補習になってしまい、勉強にはならない。

タブレット学習には賛否あるが、使い方によっては、かなり有効なアイテムであると思う。

授業の最後に「おーい、みんなわかったか？」「わかったー」では、わかったことがわかってないと思う。